

特殊詐欺の発生状況（平成29年6月末） ～ 特殊詐欺被害が急増！～

1 県内の特殊詐欺の認知状況（6月末現在）

- 被害認知件数は**55件（前年同期比+3件）**
- 被害総額は**約1億1,530万円（前年同期比+約3,630万円）**
- 被害者の**約67%**が65歳以上の高齢者

2 6月中の認知状況

- 被害認知件数は**14件（前年同月比+12件）**
- 被害額は**約1,520万円（前年同月比+約1,460万円）**
- 手口は
 - ◎振り込め詐欺 12件
 - ・オレオレ詐欺 2件
 - ・架空請求詐欺（有料サイト利用料金名目） 4件
 - ・ 〃 〃（金融商品等取引名目類似） 1件
 - ・融資保証金詐欺 1件
 - ・還付金（払戻金）詐欺 4件
 - ◎振り込め詐欺以外の特殊詐欺 2件
 - ・金融商品等取引名目 1件
 - ・ギャンブル必勝情報提供名目 1件

3 県内の特殊詐欺の傾向（6月中）

○ **ハガキやメールによる架空請求詐欺が連続発生**

6月だけで特殊詐欺被害件数が**14件**と多発したことにより、累計で前年同期を上回る被害となりました。（前年同期比+3件）

特に発生が多かった架空請求詐欺については、訴訟を起こすといった内容のハガキが届いたり、有料サイトの利用料金が未納である旨のメールやSMSが届くなど、その内容は様々ですが、**電子マネーを購入させてお金を騙し取るという手口は共通**していますので、電話等で電子マネーの購入を頼まれたときは、詐欺を疑い、すぐに家族や警察に相談してください。

～被害者の年齢・性別構成～

	平成29年6月末現在		
	男性	女性	計
～ 19	-	-	-
20 ～ 29	-	2	2
30 ～ 39	3	2	5
40 ～ 49	3	1	4
50 ～ 59	1	4	5
60 ～ 64	1	1	2
65 ～ 69	1	6	7
70 ～ 79	4	19	23
80 ～ 89	1	6	7
90 ～	-	-	-
合計	14	41	55
内65歳以上の高齢者	6	31	37

～特殊詐欺全体の被害金交付形態～

	平成29年6月末現在 件数
振込型 (犯人が指定する口座に振り込ませる)	36
現金手交型 (犯人が直接現金を受け取る)	2
現金送付型 (郵便や宅配便などで現金を送らせる)	4
電子マネー型	10
キャッシュカード受取型	3
合計	55

※この資料は、長崎県警ホームページにも公開しています。
御覧になられた方は、御家族や御友人等にもお伝えください。